

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	40	スタッフの業務優先となる傾向が強く、利用者一人一人の意思決定が尊重されていない	グループホーム本来の姿を再確認して、出来るだけ家庭に近い環境で穏やかに生活できるよう支援する	スタッフ一人一人が利用者様の立場に寄り添った支援を行う。またカンファレンスを開催して、業務の見直しを行う。	6ヶ月
2	35	最期について本人の考え・家族の考えがはっきりしていない場合が多い。訪問診療対象者は看取りの可能性が高いこともあるので、本人の意向や家族の意向を話し合うことが不十分である	利用者や家族の意向を大切に、人生の最後まで尊厳ある生活を支援する	私の気持ちシートを活用した本人、家族の考えを知る(本人ではわからない場合は家族の意見を残しておく)看取りに関するスタッフ研修の実施	6ヶ月
3	37	火災訓練について、利用者の入れ替わりや介助の方法の違いもあり、具体的な周知が課題	迅速な避難介助ができて安全な行動が出来る	火災避難訓練を実施する場合に、消防署からの参加を依頼し、専門的な意見を聞く。また地域住民、地域消防団などにも訓練への参加を呼び掛ける	6ヶ月
4	4	地域運営推進会議に家族の参加がなく、意見要望の表出の機会がない	家族や関係者に協力を得て意見や要望の機会を作る	日程の調整、家族への説明、会議内容のプログラムの調整を行う。参加が難しい家族には敬老会や家族面談の機会を作る	6ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。